

## 2021 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

B		学習支援システム応募用授業コード			AA0228	
テーマ	国際社会の諸問題の解決にむけて					
担当者	岡松 暁子	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	木 曜日 4 限	
関連するコース	グローバル・サステナビリティコース(他コースの学生の履修を妨げない)					
授業の到達目標			授業のテーマ			
国際社会の諸問題を解決するための手段、方法を多角的な視点から考えることができるようになる。			国際社会の諸問題を題材として、発表、討論を行う。			
授業の進め方						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の関心のあるテーマについて、関連する文献を講読し、議論を行う。</li> <li>・自分の関心のあるテーマについて、報告をする。</li> <li>・その他、受講者の希望により決定する。</li> <li>・受講者の希望により、英語文献の購読も行う。</li> </ul>						
学生の皆さんへのメッセージ						
国際関係の諸問題について考えたい学生、積極的な姿勢で取り組む学生の参加をお待ちいたしております。						
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準			
毎回の予習、報告準備			報告、議論への貢献			
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）						
募集対象学年	新2年生、新3年生、新4年生					
<p>1. 募集人数：20名程度</p> <p>2. 選抜方法：志望調査票の内容。志望者数によっては面接も行う。</p> <p>質問のある方は、下記にメールを送ってください。          問合せ先：岡松 暁子 (okamatsu@hosei.ac.jp)</p>						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	無	説明会の情報詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。				
説明会開催有無	有					
備考						
不定期に懇親会を行うことがある。						

# 2021 年度研究会募集要項（追加募集）

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

<b>B</b>		学習支援システム応募用授業コード			AA0229	
テーマ	循環型社会システムの形成・推進のための経営手法-東京都千代田区を中心として-					
担当者	金藤 正直	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	金曜日 3限	
関連するコース	全てのコース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
<p>経営学や会計学の視点から、千代田区で発生する廃棄物や温室効果ガスの削減を推進する循環型社会システムモデルを検討します。これを通じて、企業や地域における経営の基礎知識、分析能力、論理的思考など、社会で活躍していくための基礎力を身につけていくことを目標とします。</p>			<p>千代田区における循環型社会システムの現状や課題を明らかにし、また、その課題への対応策を経営学や会計学の視点から検討したうえで、<u>区</u>の特性を活かした最適なシステムモデル(ビジネスモデル)を提案します。また、以上の成果をもとに、区内の教育機関や企業などで活用する環境教育系の教材やゲームの開発も目指します。</p>			
授業の進め方						
<p>①学習チームを作って、経営学と会計学の基礎基本(ビジネスモデルの構築方法に関する内容)を学習していきます。</p> <p>②学習後、新たに研究チーム(今年度は、古紙、プラスチック、ビン・カン・ペットボトル、食品ロスの4チーム)を作って、千代田区における循環型社会システムの現状や課題を検討していきます。</p> <p>③学んだこと(①)や調べたこと(②)をもとに、千代田区に対して最適なシステムモデルを提案していきます。 なお、必要に応じて、新たな文献の考察や、関係者へのアンケート調査やヒアリング調査も実施します。</p> <p>④①から③の成果をもとに、消費者(子供から大人まで)が楽しみながら環境意識を高めていくための教育開発(教材やビジネスゲームの開発)を行う予定です。</p> <p>⑤①から④の成果については、中間報告・最終報告を行うとともに、研究・調査レポートも作成していきます。</p> <p>※ゼミでは、各チームメンバーのさらなるレベルアップのために、千代田区関連のイベントや委員会を始め、学会、インゼミ、企業イベント、エコプロなどへの参加も予定しています。</p>						
学生の皆さんへのメッセージ						
<p>経営学や会計学に興味があり、共同作業などの活動に積極的かつ意欲的に取り組むことができ、他人への気配りを大切にできる学生の皆さんと一緒に学ぶことを楽しみにしています。</p>						
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準			
<p>本研究会では、さまざまな文献を活用し、また、千代田区における企業や区民などへの調査(現地調査)やイベント・委員会などへの参加もしながら、研究の視点、方法、内容を検討していきますので、楽しく前向きに、また、計画的に実施してください。</p>			<p>本演習の成績は次の4点に基づいて評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・討論への参加(発言内容)(20%)</li> <li>・報告用配布レジュメの内容(20%)</li> <li>・報告内容(プレゼンテーション能力)(30%)</li> <li>・研究・調査レポート(30%)</li> </ul>			
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）						
募集対象学年	数名程度（新2年生、新3年生、新4年生の合計人数）を募集します。					
【選抜方法】						
<p>①「研究会志望調査票」と「面接試験の内容」をもとに選抜します。なお、面接は ZOOM または Webex で行う予定です。</p> <p>②面接試験の日程や可否の結果報告は、メールおよび学習支援システムで行いますので、各自確認してください。</p>						
【その他】						
<p>①研究・調査レポートの執筆は必須とします。</p> <p>②調査先や国内の学会での研究報告や学内外の懸賞論文などへの投稿も行います。</p>						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	有・無	追加募集のために実施しません。				
説明会開催有無	有・無					
備考						

# 2021 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

<b>B</b>		学習支援システム応募用授業コード			AA0230	
テーマ	質的社会調査					
担当者	佐伯 英子	開講期	通年	※変更可能性有 曜日制限	金曜日 2限	
関連するコース	全てのコース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
1. 質的調査の方法を学ぶ。 2. 英語文献・論文を探し、読み、使いこなせるようになる。 3. 各自のテーマに沿って研究計画書を執筆する。			社会学的視点を養いながら、実践的な社会科学の調査(質的調査)のスキルを身につけるための研究会です。			
授業の進め方						
<p>前期はインタビュー、参与観察、テキスト分析を含む質的調査の方法を学び、グループプロジェクトとワークショップを通して体験します。また、各自が研究テーマを設定して文献を探し、読み始めます。後期は問いを立て、具体的な調査方法を決定し、研究計画書を執筆します。</p>						
学生の皆さんへのメッセージ						
<p>気になっている「社会問題」はありますか？ 自分の興味・関心をリサーチに結びつけることができれば、面白そうだと思いますか？ 使える英語を身につけたいと思いませんか？ この研究会はこれらの問いに頷いた、あなたのためにあります。1年間が終わる頃にはフィールドに出て調査を始められるよう、問いの立て方、資料や文献の探し方、先行研究のまとめ方、質的調査のテクニックを学び、研究計画書を書き上げます。英文の資料や文献も使えるようになります。必要なのは、知的好奇心と自ら選んだテーマを追求しようという意欲です。</p>						
授業外で行うべき学習活動(準備学習等)			成績評価基準			
課題を定められた期間内に仕上げることで、課題の文献を読み、ディスカッションに備えることは必須です。グループプロジェクトではメンバーと協力して進めること、個人研究の計画書のためには自主的に調査と執筆を行うことが求められます。			授業中の発言、発表内容、課題への取り組み等から総合的に判断します。			
募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)						
募集対象学年	新2~4年生(15人程度)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>- 「研究会志望調査票」の内容を元に選抜します。可否の結果については、学習支援システムを各自確認してください。</li> <li>- 研究会A「身体と医療の社会学」の履修予定者は1年目に履修することを強く推奨しています。</li> <li>- 本研究会は1回のみ履修が可能です。</li> </ul>						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ・説明会の情報詳細は				
説明会開催有無	有	学習支援システムに仮登録して確認してください。				
備考						

# 2021 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

<b>B</b>		学習支援システム応募用授業コード			<b>AA0231</b>	
テーマ		自然災害と防災を考える				
担当者		杉戸 信彦	開講期		通年	※変更可能性有 曜日制限 火曜日 2 限
関連するコース		全てのコース				
授業の到達目標			授業のテーマ			
<ul style="list-style-type: none"> <li>- 自然災害と防災について、災害をもたらす自然現象、土地条件、人間社会の備えなどの諸側面から具体的に説明できる。</li> <li>- 調査法や発表法を身につける。</li> <li>- 地図を活用できる。</li> </ul>			<p>自然災害のすがたは、災害をもたらす自然現象（地震や豪雨など）、土地条件（ゆれやすさや浸水しやすさなど）、人間社会の備え（ハード面からソフト面まで）など、さまざまな側面によって決まります。</p> <p>本研究会では、自然災害と防災を取り巻く話題を、主に自然地理学的な観点から考えていきます。</p>			
授業の進め方						
<p>文献講読を中心とし、時の話題の紹介やグループ研究などにも取り組みます。キーワードは、自然環境、自然災害、地形環境、地震、津波、豪雨、火山噴火、気候変動、予測、土地条件、土地利用、ハザードマップ、災害の歴史、土地の歴史、防災教育、地域性、メカニズム、歴史的変遷などです。<u>自然災害と防災にかかわる話題を中心に扱います。</u>グループ研究のテーマは、研究会をすすめる中で学生のみなさんと相談しながら検討していきます。</p>						
学生の皆さんへのメッセージ						
<p>自然災害は、人間社会のあらゆる側面に影響を与えるといっても過言ではありません。防災を実現するためには、人間社会をひろく見渡しながら検討する必要があります。そのため、春学期のはじめの文献講読においては、「過去の災害に学ぶ」ことによって、災害を決定づける要因とは何かを実例からひろく学びます。これによって自然災害と防災を多様な観点から理解し、さらに深めていくといった流れを予定しています。</p> <p>本研究会が、将来的に、リスクに配慮した防災力の高い地域社会を実現するベースとなるよう願っています。</p>						
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準			
<ul style="list-style-type: none"> <li>- 毎回の講義で紹介される資料等を使用して予習・復習をする。資料の収集・分析や事前調査、発表準備、発表後の整理、追加調査、とりまとめ等を行う。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。</li> <li>- 野外実習は 2 回（日曜に実施・研究会 A と合同の場合あり）（状況によってはみあわせます）。</li> </ul>			<p>平常点やレポート等の総合評価（100%）。基準は研究会における取り組みの状況や到達目標の達成度等です。</p>			
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）						
募集対象学年		新 2～4 年生計 16 名程度 * A と B の両者に応募は可だが受講は原則いずれか				
<p>志望調査票に、志望理由と取り組みたいテーマを具体的に記してください。後者は箇条書きでも構いません。選抜を行う場合、志望調査票の記述内容または面接ほかによります。面接の場合の日程調整や受講者確定等の連絡は学習支援システムを通じて行います。</p> <p>今年度までに「自然環境論 I」「同 II」「同 III」「自然災害論」を未履修の学生は来年度の履修を望みます。 &lt;注&gt; 杉戸研究会 B を受講中または受講した学生には原則として受講許可を出しません。</p>						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無		無 (予定)	オープンゼミ・説明会の情報詳細は 学習支援システムに仮登録して確認してください。			
説明会開催有無		無 (予定)				
備考						
質問等があれば杉戸 (nsugito@hosei.ac.jp) までメールをお送りください。						

# 2021 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

B		学習支援システム応募用授業コード			AA0232	
テーマ	人間コミュニケーション					
担当者	ストックウェル・エスター	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	月曜日	2 限
関連するコース	全てのコース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
This course combines both theory and practice and provides an overview of the different aspects of human communication. We will cover fundamental theories to explain features of interpersonal relationships, groups, organizational relationships, cultural diversity, cultural attitudes, groups and persuasion, mass media, and the effects of the media on receivers. Students will learn to question why some forms of communication work and why others fail. Individual, social and technological aspects of communication are examined from theoretical and practical points of view.			* Human Communication *			
			Our lives are made up of communication in many different forms. We communicate with people around us not only through verbal language, but also through other forms of communication as well. The ability to communicate effectively is important in university study and in professional life. Differences in culture often have an effect on the way in which we communicate with each other. News and current events are also communicated to us through media such as newspapers, television and the Internet. These concepts will be discussed in this subject.			
授業の進め方						
Classes will consist of a series of short lectures and other visual materials, followed by group and class discussions on the concepts covered in the lectures. In addition, students will be required to prepare for class by reading assigned articles on the topics of the following class.						
学生の皆さんへのメッセージ						
言葉自体はメッセージを伝えますが、表情、姿勢、ファッションなども多くのメッセージを相手に伝えます。コミュニケーション学は、社会学、心理学、経済学、政治学、法学、文学、言語学、工学、医学などの分野の基盤になっており、人間は何らの形でコミュニケーションを取らないと生きていけません。また、家族・交友などの人間関係においても、欠かすことができません。全てのコミュニケーションは、自分を理解することから始まり、その次に、周りの人、学校や会社、それから社会に影響を及ぼします。このゼミは、語学のためではなく、コミュニケーションという分野について英語で学ぶのは目的なので、コミュニケーション・スタディーズに興味のある方のご参加をお待ちしています。						
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準			
Students will be required to prepare for class by reading handouts and assigned articles on the topics of the following class.			Students are expected to participate actively in class. Assessment is based on <u>weekly class participation</u> , <u>presentations</u> and <u>written assignments</u> . Students will not be assessed on their English language skills, but rather on their knowledge of the content of the classes.			
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）						
募集対象学年	新 2-4 年生					
Student numbers are limited to a maximum of 15. この研究会について質問がある学生はストックウェルまでメール( <a href="mailto:estock@hosei.ac.jp">estock@hosei.ac.jp</a> )にて連絡してください。						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	有・無		オープンゼミ・説明会の情報詳細は 学習支援システムに仮登録して確認してください。			
説明会開催有無	有・無					
備考						

# 2021 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

<b>B</b>		学習支援システム応募用授業コード		AA0233	
テーマ	文化人類学的エスノグラフィーの基礎を学び、文化を探る				
担当者	高橋五月	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	木曜日 3限
関連するコース	全てのコース(ただし、2022 年度に A ゼミ履修を希望する場合は人間文化コース選択を奨励します)				
授業の到達目標			授業のテーマ		
1) 文化人類学とエスノグラフィーについての基本的な理解を得る、2) エスノグラフィーの実践体験する、3) エスノグラフィーについて具体例を交えながら自分の考えを述べるができる、4) 文献研究、研究発表、論文作成のスキルを得る。			エスノグラフィー (人の話を聞き、行動を観察し、分析する) という調査手法について基礎知識を学び、各自で実際に調査を行います。研究テーマは自由です (例: メディア文化、日韓関係、故郷、動物保護、等々)。		
授業の進め方					
<p>本研究会は大きく分けて3つの活動で構成されます。</p> <p>① エスノグラフィー入門: テキストを講読、議論しながら、エスノグラフィーの基礎的知識を得る。</p> <p>② 現地調査: 各自が選択した研究テーマで調査計画書を作成し、実際に現地調査を実行し、発表する。</p> <p>③ 研究論文: 先行研究を参照しながら現地調査で得たデータを分析、調査レポートを作成、発表する。</p>					
学生の皆さんへのメッセージ					
<p>身近な社会問題や文化的営みに注目し、「当たり前」と思っていたことに疑問を見出し、新たな謎を発見する。そして、その謎についてエスノグラフィーという調査手法を用いて探求するというのがこのゼミの趣旨です。調査対象者の方々の話を聞き、彼らの日常生活の一部を観察させてもらうというのは、簡単なようで難しく、しかし刺激的で面白い研究方法です。しかも、(少し大げさかもしれませんが) エスノグラフィー的視点は日常に面白さを見出すことができ、人生を豊かにします。自然科学のように「正解」がない学問ですが、モヤモヤを楽しみながら、頭と体を使った知の探求を一緒に楽しみましょう。</p>					
授業外で行うべき学習活動 (準備学習等)			成績評価基準		
テキストや関連文献の講読、文献感想文、ファシリテーター、調査準備、現地調査、発表準備、論文作成			平常点 (意見交換への参加など)、フィールドワーク、プレゼンテーション、文献感想文や論文による総合評価		
募集にあたってのお知らせ (選抜方法・その他)					
募集対象学年	新2~4年生(15名程度)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>高橋 B ゼミは基本的に1年間限定での履修です (留学等の理由により1年間で完了できない場合は応相談)。</li> <li>高橋 A ゼミ入会には B ゼミ履修を推奨しています。将来的に高橋 A ゼミで卒論に取り組みたい場合は、まず B ゼミにてエスノグラフィー基礎知識を習得してください。</li> <li>B ゼミのみ履修希望 (将来的な A ゼミ入会を希望しない方) も大歓迎です。毎年半数程度が B ゼミのみ履修しています。</li> <li>応募者多数の場合は、志望票の内容 (第1次審査) と、面接 (第2次審査) によって選抜します。第1次審査通過者リストと面接の詳細は Hoppii 「お知らせ」を確認してください。</li> <li>2021 年度までに「環境人類学 I」「同 II」のうち、最低1科目は履修することが必要です。</li> </ul>					
オープンゼミ・説明会					
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ・説明会の情報詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。個別の質問等は高橋 <stakahashi@hosei.ac.jp> まで連絡をください。			
説明会開催有無	有				
備考					

# 2021 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

B		学習支援システム応募用授業コード			AA0234	
テーマ	持続可能な社会を求めて: 国家／社会／共同体					
担当者	武貞稔彦／竹本研史	開講期	通年	※変更可能性有 曜日制限	木曜日5限	
関連するコース	グローバル・サステナビリティコース 人間文化コース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
<p>本研究会では、(ア)持続可能性(もしくは開発と環境)をめぐる議論を広い視野から捉え、(イ)自らの意見を持ちそれを人に伝え、(ウ)途上国、先進国を問わず、将来の持続可能な社会の姿を自らの価値観に基づき想像/構想できるようになることを目標とします。</p>			<p>2021年度は、私たちが当たり前のものとしている、「国家、社会、共同体」について考えます。他者との共生を前提とし、国内外を問わず社会における格差/不平等について考えることが持続可能な社会の構築には必要です。その中で国家や共同体の果たす役割について考えていきます。</p>			
授業の進め方						
<p>主に a)基礎文献の精読、b)与えられた課題に関する個人またはグループによる調査とグループディスカッション、c)参加者の意見表明の機会、などからなります。受講者の積極的な提案に基づき、演習の方法等は随時見直しを行います。</p>						
学生の皆さんへのメッセージ						
<p>* 当研究会は1年間でメンバーは原則交代です。1年間という限られた時間を実のある研究会とするため、参加者は「一期一会」の精神で積極的に他の参加者とかわり合い、コミュニケーションすることが必須です。</p> <p>* 「国家」「社会」「共同体」以外にも以下のキーワードに関心のある人の応募を期待します。</p> <p style="text-align: center;">【途上国、貧困、援助/支援、環境、正義】</p> <p>* 演習参加者に最も求められるものは知識や学力ではなく「コミットメント」と「他者への配慮」です。教員としては、ゼミへの時間通りの出席および事前の予習は当然のことと考えますので、それらの要求に応えられない人の応募は望みません。</p>						
授業外で行うべき学習活動(準備学習等)			成績評価基準			
<p>基礎文献、与えられた課題は必ず熟読して演習に臨むこと。関連して紹介された参考書なども出来る限り目を通すこと。必要に応じてゼミ外でもグループなどで積極的に集まり、課題について議論する機会を設けること。</p>			<p>研究会での議論への貢献、必要なレポート、その他研究会運営における貢献などを総合的に勘案します。</p>			
募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)						
募集対象学年	新2年生～新4年生、計30名程度(各学年10名が目安)。					
<p>* 本研究会は、1年間の履修で、2年連続しての継続履修は原則として避けてもらっています。なお、1年間をおいての履修、すなわち、2年次と4年次の履修は認められます。</p> <p>* 他研究会との重複履修は原則可能です。負担が心配な人は教員に個別に相談してください。</p> <p>* 応募者多数の場合は、志望調査票の精査、面接等を通じた選考を行います。選考方法およびスケジュールについては、学習支援システムでお知らせします。</p>						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ・説明会の情報詳細は				
説明会開催有無	有	学習支援システムに仮登録して確認してください。				
備考						
* 毎年異なるテーマで開講予定です。(参考:2020年度「制度」、2019年度「格差/不平等」)						

# 2021 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

<b>B</b>		学習支援システム応募用授業コード			AA0235	
<b>テーマ</b>	英文契約の基礎					
<b>担当者</b>	永野秀雄	<b>開講期</b>	春	<b>※変更可能性有 曜日時限</b>	金曜日 4限	
<b>関連するコース</b>	サステイナブル経済・経営コース グローバル・サステナビリティコース					
<b>授業の到達目標</b>			<b>授業のテーマ</b>			
受講者の皆さんが、社会に出て国際的に活躍されるときに遭遇する英文契約を読む基礎力を身につけることを目標とします。			本研究会では、英語で書かれた基本的な契約書（英米法に基づくもの）を読むための勉強をします。英文契約書の英語は、特殊なものです。そのための基本的な用語や文例を学んでいきます。			
<b>授業の進め方</b>						
まず、担当教員が、初歩的な教科書をもとに、英文契約の基本を解説していきます。授業の途中で何回か、教科書にでてくる用語や文例を覚えて頂き、確認する小テストを行います。教科書を終えたのち、現実に用いられている英文契約書（プリント）を用いて、皆さんに読んで頂きます。受講生何名かで構成される班による発表形式を取ります。難しい個所は、担当教員が解説いたします。						
<b>学生の皆さんへのメッセージ</b>						
一昔前までは、企業で英文契約書を読む必要のある人は、国際法務部員などの一部の専門家に限られていました。しかし、現在、国際法務部などの部門は、契約書の交渉と作成（起案）、国際入札、国際的な訴訟などの業務に追われています。その結果、日常的に用いられる普通の英文契約は、国際部門の営業職のみならず、国内の調達部門、財務部門、製造部門、環境部門をはじめ、多くの総合職の方々に読むことが求められる時代になりました。是非とも多くの皆さんに、その基本的な知識を身につけて頂きたいと思えます。						
<b>授業外で行うべき学習活動（準備学習等）</b>			<b>成績評価基準</b>			
教科書で指定された小テストの個所（一定の長さの条文や単語）を覚えて来て下さい。また、実際の英文契約書の訳を班ごとに発表するときに和訳や説明をしたレジュメの準備をお願いします。			平常点のみです。小テストの結果、班の発表等で評価します。なお、3回以上欠席したり、小テストの勉強や発表準備をしてこなかったりした場合には、単位をあげることはできません。			
<b>募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）</b>						
<b>募集対象学年</b>	新2・3年生。					
<p>応募は、Hoppii の[2021 年度応募用]研究会 B で受け付けます。募集にあたっては、教員による面接を行います。自己紹介と志望理由について、合計3分でスピーチしてください。面接の日は、応募〆切の後、数日以内に Hoppii に掲示しますので、必ず確認して下さい</p> <p>このゼミに関して質問がある場合には、面接時に担当教員にお尋ね下さい。</p>						
<b>オープンゼミ・説明会</b>						
<b>オープンゼミ開催有無</b>	無	オープンゼミ・説明会の情報詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。				
<b>説明会開催有無</b>	無					
<b>備考</b>						

# 2021 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

B		学習支援システム応募用授業コード			AA0236	
テーマ	職業生活を通して労働環境を考える					
担当者	長峰 登記夫	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	木 曜日 4限	
関連するコース	サステイナブル経済・経営コース      ローカル・サステイナビリティコース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
授業のテーマに沿った学習を通して、情報収集の方法や勉強の仕方、成果の発表、それらを通じた議論の仕方等を学びます。また、発表の際のレジュメの作成や最終的なレポート作成等一連の作業を通して、私たちが卒業後にかかわる仕事や労働環境のあり方について考え、物事を論理的に考えられるようになることを目標にします。			テーマは「職業生活をとおして労働環境を考える」。具体的には就職や就職後の労働環境、賃金、労働時間、教育訓練、昇進、女性雇用、労働組合、非正規雇用、グローバル人材等について学ぶなかで、労働環境について考えます。			
授業の進め方						
基礎知識を身につけるため、前期は基本的な文献の読み合わせをします。この文献の読み合わせは学生の報告を中心に行います。前期の勉強をベースに、後期は学生が自分でテーマを設定して勉強を進め、その結果を授業内で発表し、最終的にはレポートにまとめます。なお、授業では課題を出します。						
学生の皆さんへのメッセージ						
会社や仕事について抱いていたイメージが就職の前後で異なる、それはいつの時代でも起こることです。IT時代の情報過多が原因か、そのズレは大きくなっているようです。そうしたことを少しでもなくすため、職業生活のなかで起こりうることを、雇用に関連して学びます。もちろん実際に社会に出て働いてみないとわからないこと、実感できないことはたくさんあるでしょう。職業や仕事について学び、考えることによって、そのズレを最小限にとどめられれば、学生生活から職業生活への移行がよりスムーズにいくかもしれません。						
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準			
報告が当たっていないときでも、授業で使う基本文献は全員が事前に読んで、疑問点などをメモします。授業終了後は授業での議論を整理し直し、理解できなかった論点などメモをして、次の授業に備えます。			成績評価は、1 レポート、2 レジュメの出来、3 レジュメを使った授業での発表、4 授業中の議論への参加度等により総合的に行います。			
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）						
募集対象学年	新 2～3 年生					
募集人数は現 1～2 年生ともに各 6～7 人、3 年生は 3 人程度。希望者が募集予定人数を越えたときは何らかのかたちで選抜を行います。選抜方法は、学習支援システムに掲載する資料で確認してください。ただし、 <u>現 2 年生および 3 年生については労働環境論 I・II を履修済みの者を優先します</u> （「志望調査票」には必ず履修済みか否かを明記してください。記載がない場合は履修していないものとみなします）。						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	無					
説明会開催有無	無					
備考						

# 2021 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

<b>B</b>		学習支援システム応募用授業コード			AA0238	
テーマ	地域環境への歴史的アプローチ					
担当者	根崎 光男	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	月 曜日 5 限	
関連するコース	ローカル・サステナビリティコース、人間文化コース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
環境史の学習を通じて研究テーマを見つけ、それを深めるための調査・研究方法を学び、研究成果をまとめる。これにより、情報収集能力、プレゼンテーション能力、質疑・応答能力を養う。			日本全国の各地域は、それぞれ地理的景観も歴史や文化も異なる。各地域の自然・地理・歴史・生活・文化などの風土の特質を探り、新しいまちづくりを考える。これは歴史の持続可能性を考えることでもある。			
授業の進め方						
このゼミは歴史をベースに、さまざまな地域環境にかかわる課題を考えていく研究会です。授業は、グループ研究や個人研究に基づく発表や質疑応答を通して知識を深め、資料(地域環境にかかわる活字資料・古地図・古文書など)の講読、古地図を携えて大学周辺の史跡散策などを通して新しい知見に触れ、論理的な組み立てを考える。これらを通して、収集したデータを読解・分析し、研究を深める。これらを積み重ね、「研究レポート」として結実させていく。						
学生の皆さんへのメッセージ						
本研究会では、まずメンバー個々に個人的に興味のある研究テーマを考えてもらいます。そこで、地域環境を知るために歴史や文化を調べ、調査対象のフィールドに出かけて地域の特色を探り、また大学内外において文献を収集し、地域にかかわる知見を得て研究を深めていく。研究会メンバーには、歴史・文化を踏まえた各地域のまちづくり、各地にある祭りや文化遺産の保全や課題、古代～近代にみられる生活・自然にかかわる環境史を研究している学生が多数います。歴史や文化を踏まえて、さまざまな地域環境の課題を考えたい学生の応募を望んでいます。						
授業外で行うべき学習活動(準備学習等)			成績評価基準			
配付資料の読解・分析、個人研究の文献収集・分析を行う。 フィールド調査、ゼミ合宿(学生による候補地選定)を行う。 研究レポートの作成を行う。			授業時の学業姿勢などの平常評価のほか、発表・レポートの内容などを総合的に評価する。			
募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)						
募集対象学年	新2～4年生					
<p>○応募者は可能な限り、受け入れます。ただし、教員(ゼミ生同席の可能性あり)による面接をおこなう予定です。面接の日時については、学習支援システムを通じてお知らせするので確認してください。</p> <p>○応募者が少ない場合は、学習支援システムにて追加募集のお知らせをしますので確認してください。</p> <p>○本研究会にかかわる諸行事(ゼミ合宿・歓送迎会・史跡探索など)に積極的に参加できる学生を求めています。</p> <p>○熱意のある学生を受け入れたいので、志望調査票にその熱意をしっかりと記入してください。</p>						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ・説明会の情報詳細は、学習支援システムに仮登録して確認してください。また研究会紹介の冊子にも記載されています。				
説明会開催有無	有					
備考						
<p>オープンゼミ:10月26日(月)、11月2日(月)、11月16日(月)、いずれも5時限の時間帯です。</p> <p>説明会(相談会):10月26日(月)、11月2日(月)、いずれも午後8時～9時に行います。</p> <p>本研究会に関する質問は、次のメールアドレス(<a href="mailto:nesaki@hosei.ac.jp">nesaki@hosei.ac.jp</a>)に連絡してください。</p>						

# 2021 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

<b>B</b>		学習支援システム応募用授業コード			AA0239	
テーマ	責任ある経営とは何かを考える					
担当者	長谷川 直哉	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	火曜日 5限	
関連するコース	サステイナブル経済・経営コース ローカル・サステイナビリティコース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
大量生産・大量消費時代の 20 世紀が終わり、サステイナビリティ社会の実現が求められる 21 世紀では、企業経営のあり方にも変革が求められています。このゼミでは、責任ある経営とは何かをテーマに、未来社会で求められる企業像や企業価値とは何かについて学びます。			SDGs (持続可能な開発目標)、パリ協定(脱炭素)、責任投資原則(ESG 投資)、共通価値の創造(CSV)、統合報告書、サーキュラエコノミー(循環経済)、CX(デジタルトランスフォーメーション)などのテーマを中心に、具体的な企業事例を通じて、企業経営の未来像を探求します。			
授業の進め方						
持続可能な社会の構築に向けた世界的な潮流を踏まえ、以下の4つのポイントを中心に日本企業が直面する課題について検討します。(1)SDGs とパリ協定が企業の未来に及ぼす影響とは何か、(2)責任ある経営の評価基準とは何か、(3)責任投資(ESG 投資)時代に社会から選ばれる企業とは何か、(4)AI(人工知能)などデジタル革命の成果に代替されないスキルの磨き方。2・3年の混合チームを編成し、(1)～(4)のテーマに関する研究報告を行います。						
学生の皆さんへのメッセージ						
良い企業とはどのような企業でしょうか。皆さんはこの問いに答えられますか？ サステイナビリティを志向する世界的な潮流の中で、利益の量のみを基準とした 20 世紀型の企業評価システムが崩れつつあります。国内外では、企業評価において企業の社会的責任(CSR)や従業員満足度(ES)などを重視する傾向が強まっていますが、こうした流れは何を意味しているのでしょうか。この研究会では、CSRに代表される非財務情報から企業価値を評価する手法を学び、21 世紀社会で選ばれる企業とは何かを考えます。このゼミでの学びは、就職先企業を選択する際の指針にもなるでしょう。						
授業外で行うべき学習活動(準備学習等)			成績評価基準			
文献や資料の分析、ゼミでの発表に向けてサブゼミ等を実施して準備することが求められます。コロナウイルスの感染状況が改善した場合は、夏休みにゼミ合宿(奄美大島または北海道)を行います。			成績評価は加点主義で、作成した報告資料や報告内容のレベル、研究会活動に対する貢献度などを総合的に評価します。			
募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)						
募集対象学年	新2・3年生					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・志望調査票に記載された志望動機とオンライン面接による選考を行います。</li> <li>・B ゼミ希望者は A ゼミにも応募することを勧めます。</li> <li>・後日面接の連絡をしますので、志望調査票には必ずメールアドレスを記載してください。</li> <li>・合格者は「現代企業論」、「ビジネスヒストリー」、「CSR 論 I」、「CSR 論 II」を履修して下さい。</li> </ul>						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ・説明会の情報詳細は				
説明会開催有無	有	学習支援システムに仮登録して確認してください。				
備考						

# 2021 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

B		学習支援システム応募用授業コード			AA0240	
テーマ	中国の環境問題を考える					
担当者	日原 傳	開講期	秋学期	※変更可能性有 曜日時限	金曜日 3限	
関連するコース	グローバル・サステイナビリティコース 人間文化コース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
<ul style="list-style-type: none"> <li>中国の環境問題について理解を深める。</li> <li>中国の環境問題の解決のために行動する人々の活動を知る。</li> </ul>			「大気汚染」「河川・湖沼の汚染」「沙漠化の進行」「水不足」「土壌汚染」「森林や草原の生態系の破壊」等々、中国が直面する環境問題の実態を知り、その解決の方法について考える。			
授業の進め方						
最初の時間に使用する基本テキストについて説明する。その上で、参加者に担当箇所を割り振る。担当者はテキストを精読して、問題点を把握し、他の文献等に当たって可能な限り調べて報告する。それを踏まえて、皆で議論を行なう。						
学生の皆さんへのメッセージ						
参加資格として、中国語の既習・未習は問いません。中国語未習者も参加可能です（基本テキストは日本語のものを使用します）。						
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準			
テキストを下読みし、分からない用語などを調べたうえで授業に参加する。			平常点（授業の参加態度・発表内容）70% 最終レポート30%			
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）						
募集対象学年	新2-4年生					
<ul style="list-style-type: none"> <li>志望者が多く選抜が必要な場合は、「志望調査票」によって選抜します。</li> <li>他のAゼミ・Bゼミとの掛け持ちを認めます。</li> <li>過去に担当者のBゼミの単位を取得した学生も受講を認めます。</li> <li>留学生の受講を歓迎します。</li> </ul>						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	有・ <input type="radio"/>	オープンゼミ・説明会の情報詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。				
説明会開催有無	有・ <input type="radio"/>					
備考						
内容についての更なる説明を希望する人は、担当者にメール（アドレスは履修の手引き参照）等で問い合わせてください。						

# 2021 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

<b>B</b>		学習支援システム応募用授業コード		<b>AA0241</b>	
テーマ	持続可能な社会を考える「問い」を立て、考える				
担当者	湯澤 規子	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	火曜日 5限
関連するコース	全てのコース				
授業の到達目標			授業のテーマ		
①自らの「問い」を立て ②主体的に調べ(フィールドワークや資料収集・分析) ③リサーチペーパーの作成 ④研究成果の報告			この研究会では持続可能な社会を考え、実現するためにはどのような「問い」が必要かを、参加者それぞれが決めます。その「問い」に答えるための課題と方法を見つけ、それに取り組み、議論を深めていきます。		
授業の進め方					
Step1: 持続可能な社会を考え、実現するための「問い」を考える Step2: 「問い」に関する文献の精読とグループ報告 Step3: 可能ならミニフィールドワーク(学生主体で計画、実施予定) Step4: 春学期前半の取り組みをもとに、個人で具体的な「問い」を立て、調査計画を作成 Step5: 調査研究 Step6: リサーチペーパー作成					
学生の皆さんへのメッセージ					
◆どんな小さなことでも、自分自身の問題意識や好奇心にもとづいた「問い」を立ててみてください。 ◆この研究会では、まず、参加者それぞれの「問い」を共有し、今年1年間でどのような「問い」に取り組むかを決定します。(湯澤の得意分野は <b>地場産業、伝統産業、食と農の地域史</b> などですが、テーマはそれに限りません。湯澤も新しいテーマに挑戦するつもりで取り組みます。) ◆その「問い」を頭の片隅に置きながら日々を過ごすと、今まで見えなかったものが見えたり、気にならなかったものが気になったりしてきます。時には実際にそれを確かめるために、現場に行き、経験してください。 ◆その「発見」、「違和感」、「経験」を自分以外の誰かに伝え、一緒に考える場が研究会です。 ◆侃侃諤諤(かんかんがくがく)、 <b>伸び伸びとした「共考」の場</b> にしていきたいと思います。					
授業外で行うべき学習活動(準備学習等)			成績評価基準		
・興味関心に関わる情報を様々な視点から集める(文献、地図、写真、映画、小説、現地調査…) ・発表の準備(データの整理、レジュメの作成など) ・今年の「問い」にかかわる様々な体験をする			研究会への参加、発表、質疑応答、討論などを総合的に評価します。		
募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)					
募集対象学年	新2年生～4年生で10名程度。				
参加希望者は①どのような問題関心(問い)を持っているのか、②なぜ参加を希望するのかを、志望調査票に記入して提出してください。調査票の内容にもとづいてオンライン面接を実施しますので、掲示板の情報に注意してください(同じ内容をメールでもお知らせします)。					
オープンゼミ・説明会					
オープンゼミ開催有無	無	個別に質問や相談を受け付けます。湯澤までご連絡ください。			
説明会開催有無	無	yuzawa.noriko@hosei.ac.jp			
備考					

# 2021 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

B	学習支援システム応募用授業コード				AA0242	
テーマ	循環型社会形成に向けた課題：プラごみや食品ロス問題を中心として					
担当者	横内 恵	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	火曜日 5 限	
関連するコース	ローカル・サステナビリティコース、サステナブル経済・経営コース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
<p>(1) 循環型社会形成のための様々な施策について、基礎的な知識や考え方を習得する。</p> <p>(2) 具体的な分野（プラごみ、食品ロス等々）について、その現状を調査し、現在の制度やその運用における課題、企業や一般市民の側での課題について検討する。</p>			<p>大量生産・消費・廃棄社会から循環型社会へと変革していくにあたり、様々な課題があります。海洋プラスチックごみ問題をきっかけとして対策が急速に進んでいるプラスチックごみや、依然として大量に発生している食品ロスなど、取り組むべき問題はたくさんあります。こうした中で、現在どのような政策が実施されているのか、その下で企業などが具体的にどのような対策を講じているのか、といったことを、みなさんと一緒に調べて、課題を検討していきたいと思えます。</p>			
授業の進め方（コロナ禍の状況次第で変更する可能性があります）						
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 毎回、事前に決めた報告者に、ゼミの場で報告していただきます。学期初めに報告日程を決めます。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 春学期：教科書や資料を参照しながら、様々なゴミ（プラスチック、食品など）の問題の現状や、循環型社会形成のための制度について学びます。</li> <li>・ 秋学期：日本国内や外国の様々な事例を調べ、それらの課題を検討します。</li> </ul> </li> <li>■ その時の社会情勢等にもよりますが、可能な場合には、日帰りゼミ実習として施設見学なども実施いたします。</li> </ul>						
学生の皆さんへのメッセージ						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 興味のあるテーマについて、自分自身で調べたり、それをゼミの場で報告をしたり、ゼミのみなさんと議論したりすることは、大学生活ならではの良い経験になります。積極的に取り組んでみましょう</li> <li>・ 研究会での研究活動を通して得た考え方やスキルは、その後の人生においても役立つはずですよ。</li> <li>・ 1年完結のゼミですが、その時を共に過ごすメンバーと一緒に、楽しいゼミを作り上げましょう。</li> </ul>						
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各回の報告担当者には、入念に報告準備をして頂きます。</li> <li>・ 課題の提出を求めることもあります。</li> </ul>			<p style="text-align: center;">総合評価 (ゼミ内での報告、参加姿勢、課題提出等による)</p>			
募集にあたってのお知らせ						
募集対象学年	新2～4年生					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 募集人数は、最大で12名程度の予定です。</li> <li>・ 応募者多数の場合は、面接によって選抜を行う可能性があります。その場合、募集締切り直後に、Eメールにてご連絡いたします。</li> </ul>						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催	有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10月27日、11月10日、11月17日の17:00～、ZOOMにて、「オープンゼミ」を実施する予定です。お気軽にご参加ください!!</li> <li>・ 同日6限頃に、ZOOMにて、「説明会」（募集相談会）を実施する予定です。みなさんからのご質問やご相談を受け付けます。お気軽にご参加ください!!</li> </ul>				
説明会開催	有	<p>(※ 情報詳細は、必ず、学習支援システムに仮登録して確認してください。)</p>				
備考						
ご不明な点がございましたら、ご遠慮なく担当教員にお問い合わせください!! (E-mail: m-yokouchi@hosei...)						

# 2021 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

B		学習支援システム応募用授業コード			AA0243	
テーマ	生命倫理、動物倫理、環境倫理のテキストを読む					
担当者	吉永明弘	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	木曜日3限	
関連するコース	ローカル・サステナビリティコース 人間文化コース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
生命倫理、動物倫理、環境倫理に関する文献を読み、議論することで、医療問題、動物問題、環境問題について理解を深める。その成果をブックガイドとしてまとめる。			(1)生命倫理の文献購読と議論 (2)動物倫理の文献購読と議論 (3)環境倫理の文献購読と議論			
授業の進め方						
参加者との話し合いのもと、読む文献を決めて、分担して要約をつくりながら読み進めていく。最後に全員の書評をまとめたブックガイドを刊行する。						
学生の皆さんへのメッセージ						
医療問題や動物問題、環境問題に関心があるけれども、難解な本を一人で読むのはつらい、という方がいると思います。このゼミでは、そうした難解な本をみんなで少しずつ強制的に読むことになるので、よい機会となるでしょう。さらに、議論を通じて他の人の意見を聞くことができます。また、自分の文章を本にまとめたいという人にもおすすめです。書評の例として、環境倫理学と環境問題の本 100 冊を紹介した拙著『ブックガイド環境倫理』(勁草書房)をご覧ください。						
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準			
文献を各自で読み、担当箇所についてはレジュメにまとめること。最終的には分担で書評を書くこと。			文献購読への参加、レジュメの発表、書評の提出によって評価する。			
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）						
募集対象学年	新2～4年生（10人程度）					
Zoom で面接を行い決定します。日時などはメールで連絡します。結果もメールでお伝えします。						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	無	オープンゼミ・説明会の情報詳細は 学習支援システムに仮登録して確認してください。				
説明会開催有無	無					
備考						
前年度のゼミとは内容を一新しています。そのため参加者が進め方などをゼロからつくっていくことになります。説明会などはないので、個別に私あてにメールでお問合せ下さい。						

# 2021 年度研究会募集要項

研究会Bを希望する学生は、全員必ず応募を行ってください。

<b>B</b>		学習支援システム応募用授業コード		AA0244	
テーマ	「人と自然にとって持続可能な都市とは」—千代田区を含む都心から発想する—				
担当者	高田 雅之	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	木曜日 2限
関連するコース	全てのコースが対象				
授業の到達目標			授業のテーマ		
ゼミでは「緑・水・生物」の視点から人と自然にとって持続可能な都市を探求します。防災・造園・生物多様性・計画・教育など様々な分野からのアプローチを試み、海外事例や野外の現場を含めて、多面的知識と俯瞰的な視点から都市環境を考え、望ましい姿をイメージできる実践的な思考力(提案力・応用力・デザイン力)を高めることを目標とします。併せて、千代田区が取り組んでいる環境マネジメントシステムである CES(千代田エコシステム)への貢献も目指します。			千代田区を含む都市全体を対象に以下に取り組みます。 ①緑・水・多様な生物など都市の自然を構成している個々の要素について理解と知識を深めます。 ②街路樹・公園・都市農業・河川や海岸など都市を構成する自然的空間の果たす役割と機能を考えます。 ③環境教育・コミュニティ・企業活動・景観・維持管理など人間の果たす役割について探求します。 ④認証制度・グリーンインフラなどこれらに関連づける仕組みやシステムから持続的な都市を提案します。		
授業の進め方					
①グループ研究…半期に 2～3テーマを設定し、グループで調査・討論・取りまとめ・プレゼンテーションを行い、「課題設定→情報収集→分析評価→伝達・発信」を通して課題への知識と理解を高めます。 ②個人研究…個々人の関心に応じた研究テーマを自由に設定して調査と意見交換を行い、到達目標に掲げた能力を高めていきます。また共通テーマを設定し、日替わり交代で短い発表を行い、それらを統合し俯瞰することでテーマの様相や課題を考えます。 ③フィールド研究…半期に数回程度、様々な取り組みの実際を学ぶ、グループで観察記録して評価する、環境教育に関わるイベント(神田児童館や千代田区主催の行事等を予定)に参加する等の活動を行います。 ④実践提案まとめ…これらを積み重ね、組み合わせて持続可能な都市に向けたアイデアや提案を取りまとめることを通して、俯瞰力・構想力・実践的思考力を高めていきます。					
学生の皆さんへのメッセージ					
持続可能な都市は、持続可能な社会を考える重要な場だと思います。その中で自然環境(緑・水・生物)が果たす役割が国／都市の政策に位置づけられるなど世界的に重要視されています。このゼミではひとつの課題に対して様々な角度から視線を当て、その反射光を柔軟に受け止めてひとつの形に組み立てる力を目指します。多様な授業の進め方とアプローチ分野に対して、高い関心と意欲を持って参加いただける方を歓迎します。					
授業外で行うべき学習活動(準備学習等)			成績評価基準		
「授業の進め方」①～④に関して、必要な準備や調査を行うほか、日頃の学習の中でヒントやアイデアを常に探し、それをゼミ学習に生かすよう心掛けて下さい。			活動参加、学習意欲、受講態度、グループワークやイベント活動への貢献、ゼミ運営への率先と貢献、提出物の内容と期日遵守等を総合的に評価します。		
募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)					
募集対象学年	新2年生、新3年生、新4年生				
募集人数	15名程度				
選考	選考は書面及び面接(ZOOM)により行います。志望調査表には志望理由のほかに関心のあるテーマや行いたい学習方法(上記①～④など)を明記して下さい。1年単位のゼミですが、高い意欲で取り組んでいただく方は継続参加も歓迎です。選考に関する連絡については、学習支援システムでお知らせしますので随時確認して下さい。				
オープンゼミ・説明会					
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ(ZOOM)の詳細は学習支援システムにてお知らせしますので仮登録の上で確認して下さい。説明会は直接お尋ねいただくことでこれに代えます。			
説明会開催有無	無				
備考					